

湘南にのみや 議会だより

第200号
We Love Ninomiya

第200号
6月定例会号

発行：令和8年（2026年）7月24日

第9号

発行：二宮町議会
編集：議会だより編集委員会
電話：0463（71）3311

新庁舎で九月議会
近代的な新議場

◆今号の主な内容◆

- ・新庁舎の概要
- ・新議場の概要
- ・新議場の設備
- ・新議場の利用
- ・新議場の展望

窓からは相模湾の眺望に見ほれる議場

第17号

発行：神奈川第二短期大学
編集：湘南ビーチマラソン実行委員会
電話：0463（71）3311
印刷：神奈川新聞社

スपोर्टズの秋
盛大に町民体育祭

◆今号の主な内容◆

- ・町民体育祭の概要
- ・町民体育祭の開催
- ・町民体育祭の参加
- ・町民体育祭の観戦
- ・町民体育祭の感想

絆が生まれた活況の体育祭 中学校校庭で

第71号

発行：神奈川第二短期大学
編集：湘南ビーチマラソン実行委員会
電話：0463（71）3311
印刷：神奈川新聞社

バルセロナ金メダリスト岩崎恭子さん温水プールで初泳ぎ

総予算109億8,937万円を可決

県園芸試験場跡地施設整備基金を創設

予算トピックス

【総括質問に3議員】【一般質問に5議員】が町政を問う

―再生紙を使用しています―

「今まで生きてきた中で一番幸せです。」by岩崎

第91号

発行：神奈川第二短期大学
編集：湘南ビーチマラソン実行委員会
電話：0463（71）3311
印刷：神奈川新聞社

頼みず 知らない町づくり

3月定例会
3/5～3/26

◆今号の主な内容◆

- ・総括質疑に4議員
- ・予算に反対・賛成
- ・一般質問に9議員
- ・議会トピックス
- ・校東園周辺環境対策特別委員会設置
- ・街の匠を紹介

石井文雄氏（元教育長）が描いた似顔絵
町政と議員です。あなたは、さて何人おわがりでしょうか？

故石井元教育長が描いた似顔絵

第92号

発行：神奈川第二短期大学
編集：湘南ビーチマラソン実行委員会
電話：0463（71）3311
印刷：神奈川新聞社

湘南ビーチマラソン

◆今号の主な内容◆

- ・介護認定審査会の条例決まる
- ・「議会が決まったこと」
- ・一般質問で7議員が町と議論
- ・請願・陳情はどうなった
- ・街の匠を紹介

六月定例会
6/4～6/10

湘南国際マラソンの始まりは二宮町から

第119号

発行：神奈川第二短期大学
編集：湘南ビーチマラソン実行委員会
電話：0463（71）3311
印刷：神奈川新聞社

昭和初期、北口通りをのどかに行きかう軽便鉄道と荷馬車
（百合が丘在住・奥原昇一氏作・裏面のこの人紹介をご参照下さい）

3月定例会（3/3～3/24）

町長2期3年 集大成の予算に対して

- ・総括質疑に4議員、討論に5議員が登壇
- ・議会が決まったこと
- ・議会トピックス
- ・一般質問で4議員が町政を問う
- ・この人紹介 軽便鉄道を絵に

6月定例会のお知らせ
6月2日（金）から開催 本会議・委員会の開催できます―お気軽にどうぞ―

過去から未来 市井の幸と政治 真眼問う

第3回臨時会（5/11）・6月定例会（6/5～6/17）

- ◆ 令和8年度当初予算、3度目の審議でようやく成立 …… 2～3
- ◆ 2件の請願、4件の陳情を採択 …… 4
- ◆ 11議員が一般質問で町政を問う …… 5～10
- ◆ 第200号記念特集 …… 11



議会HP



すべての討論



二宮町議会
YouTube

令和8年度一般会計 当初予算

3度目の審議で

3月定例会・5月臨時会で否決されていた
3月定例会提出のものから**800万円**の

5月11日臨時会では2度目の否決

5月11日開催の臨時会で、令和8年度一般会計当初予算案が再度提出されたが、否決された
(賛成5：反対8)。

提出された予算案は、3月定例会のものと同規模の105億3,500万円。政策的には、将来の財政を検討する専門家会議の招へいに50万円を計上。さらに、予算執行が遅れることでできなくなる観光PR動画の撮影を削除するものであった。

反対討論

- ・財政の検討は評価するも、当初予算で指摘した問題や町民要望に応える新たな施策がない (渡辺)
- ・改善は「部分的」で予算額も内容も変わらず将来の戦略が示されている予算とは言えない (岡田)
- ・今予算も大型建設事業による財政圧迫とサービス低下懸念が払拭できる策とは言えず反対 (羽根)
- ・庁舎建設反対。洪水浸水並びに土砂災害リスク、地盤脆弱性、専門家会議で財政懸念が露呈 (松崎)
- ・新庁舎建設の危険性や交通安全対策の不備、議会指摘無視の予算案再提出に反対する (浜井)
- ・否決を真摯に受け止めず巨額の財政負担を見直さず計画性を欠き優先課題を軽視している (大沼)

賛成討論

- ・議員任期最後に修正案無し否決で行政の根幹の予算編成に議会が暴走、行財政損失は町民負担 (一石)
- ・こどもの権利条例制定遅れて市民活動の方々も大迷惑だ。反対なら、修正予算を提出せよ (小笠原)
- ・先に否決された予算とほぼ変わらぬ本案は少ない予算で最大限の成果をあげられる予算案 (古谷)



暫定予算で開催が遅れたこども会議

可決された予算は、3月定例会提出の予算案から大きく組み立てが変わるものではない。今年度の予算で対応が難しい点については、「追補版」説明資料として、町の対応方針が文書として示された。

対応方針

1. 新庁舎整備を含む大規模な公共施設整備事業
2. 公共施設用地の課題対応
3. ふるさと納税の推進
4. 地域公共交通
5. 地域の役員の担い手不足への対応
6. 二宮駅北口公衆トイレの改修
7. こどもの権利条例策定
8. その他、DX推進や環境問題、移住定住施策など

ようやく成立

今年度の一般会計予算が可決された（賛成 9：反対 4）。
減額で、**規模**は**105億2,700万円**となった。

6月17日今回の予算変更は大きく2つ

A：当初予算の執行遅れや暫定予算執行による事業の停止や、実施時期の変更によるもの
B：その他の変更（6月補正にあたる）

A 当初予算執行遅れによるもの

○観光PR動画・ポスター制作（中止）	歳出	減	200万円
○ふるさと寄附金（推進）	歳出	増	200万円
○第6次総合計画後期基本計画策定委託（9年度から実施）	歳出	減	578万円
○公共施設等総合管理計画改定委託（9年度から実施）	歳出	減	790万円
○エコフェスタにのみや（町を除き共催団体で実施）	歳入	減	1万円
	歳出	減	12万円
○袖が浦プールの環境整備	歳出	増	80万円
○町民体育館のLED照明借上げ（リース期間変更）	歳出	減	64万円

B その他の追加

○物価高対応子育て応援手当の不足分計上	歳入	増	368万円
○里地里山保全等促進事業補助金	歳入・歳出	増	各8万円
○防犯カメラ設置費補助金	歳入	増	25万円
	歳出	増	34万円
○指定ごみ袋購入費	歳出	増	368万円

単位はいずれも千円以下四捨五入

賛成討論

- ・公共施設再配置事業の見極めと、こどもの権利条例につき学校を含め周知することを評価（渡辺）
- ・ふるさと納税で戦略的財政対策、プロポーザルで高実効力評価。財政安定には目標設定を（岡田）
- ・町民生活を最優先とした予算編成と対話による持続可能なまちづくりを求め賛成（羽根）
- ・東大果樹園跡地、温水プール等協働コンセプトで資源の結集と展開、子どもが主語の教育体现を（一石）
- ・予算が通らないことでの痛手大きい。町民に事業実施が遅れた損失の周知求めて賛成（小笠原）
- ・計上されている事業はすべて重要なので、しっかりと行うため一刻も早く可決してほしい（古谷）

反対討論

- ・予定地の洪水浸水並びに土砂災害リスク、地盤脆弱性に鑑み新庁舎整備事業の減額を求める（松崎）
- ・コスト隠ぺいや立地リスクのある新庁舎計画を強行する予算案に対し、断固反対する（浜井）
- ・軟弱地盤での庁舎建設は安全・財政面で極めてハイリスクであり抜本的見直しを求める（大沼）
- ・1年間を見通した予算ではない。特に公共施設再配置事業は相変わらず課題先送りのまま（野地）

焦点の1つとなった
新庁舎整備



請 願

- （請願第1号）飼主のいないネコの不妊手術事業へ協働行政として登録することを求める請願
全員一致で採択

請 願 者：土肥真咲
紹介議員：羽根、野地、善波、岡田
要 旨：公益財団法人どうぶつ基金の実施する、さくらねこ無料不妊手術事業に協働行政として町に登録を求め、本事業への参加を住民に周知すること。

- （請願第2号）吾妻山への車両送迎を可能とする請願
賛成多数で採択（11：2）

請 願 者：坂本満帆、渡辺紀子
紹介議員：野地、善波、羽根、岡田

陳 情

討論は表紙にQRコードあり

- （陳情第3号）地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情
賛成多数で採択（7：6）国に意見書を提出

陳情者：公益財団法人 神奈川県地方自治研究センター
理事長 佐野充
要 旨：地方自治体が安定してサービス提供できるよう地方財政の充実・強化を国に求める意見書提出を要望する。

（討論）

- 賛 地方分権とくらしを支える、地方財政の確立は重要・急務。不一致点はあるが大筋で賛同（渡辺）
- 賛 自治体の財政需要に適した行政体制と人件費、裁量と制度設計の参画等、必要な措置（一石）
- 賛 内容は地方自治を応援・後押ししてくれるもの。反対理由などない。（根岸）
- 賛 財源不安があり無計画な財政出動は戒めが必要、町は歓迎との事で地方自治の充実に理解（大沼）
- 関 全11項目は多岐にわたり、全てが本町の実情に合致していないため一括採択はできない。（浜井）

- （陳情第4号）排泄に課題を抱える障害者の日常生活用具へ排泄予測支援機器の追加認定についての陳情
全員一致で採択

陳情者：江村絵美
要 旨：排泄予測支援機器により尿のたまり具合を把握し、適切なトイレ誘導で生活の質の向

契 約

- （議案第46号）二宮町立二宮中学校特別棟外壁等大規模改修工事請負契約
全員一致で可決

契約金額 7,370万円
業 者 山一産業株式会社（一般競争入札）
工事内容 令和2年度の調査によりD判定となった特別棟外壁の補修や塗装など。
工 期 令和8年6月5日～12月28日（夏休みを中心）

条 例

- （議案第44号）二宮町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
賛成多数で可決（12：1）

3歳以上限定の小規模保育事業の創設および、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等を1人に限り保育士とみなす旨の改正。

（討論）

- 賛 作業療法士等の保育士算定は幼児の体幹の崩れ等近年のニーズが看過できない状況を察する（一石）
- 関 事業の対象年齢拡大は場当たりの。理学療法士のみなし保育士化で、保育の質低下を懸念（渡辺）

要 旨：吾妻山へ自分で登ることのできない高齢者または障がい者等を法人または団体等の車両にて送迎できるように求める。

（討論）

- 賛 あらゆる方々が景観を楽しめるよう、環境保全・利用者の安全確保など課題解決を急げ（渡辺）
- 賛 環境、安全性の配慮を。電動カート等歩行者扱いのツールは乗入れ可能であることの周知を（松崎）
- 賛 議会は令和3年に小型電動モビリティの導入を提言しており早期の事業化が求められる（大沼）
- 関 車両禁止で守ってきた自然環境。法人車両の拡大懸念。障害の方は電気自動車使用検討を（小笠原）
- 関 議会と町でやってきた経緯ふまえ、民間と3者協議が進むよう継続審査を主張する（根岸）

上、家族の介護負担軽減を図る。

- （陳情第5号）地域文化活動支援に関する提案に係る陳情
全員一致で採択

陳情者：高橋浩二

要 旨：ラディアン改修に伴う2年間の休止期間にも演奏や交流活動に配慮、町の人材や地域資源とのつながりを再発見する好機に。

- （陳情第6号）果樹公園での庁舎建設工事着工しないで下さいの陳情
賛成少数で不採択（3：10）

陳情者：高田俊弘

要 旨：歴史的経緯の無視、軟弱地盤・資材高騰リスク、法的手続き不備を訴える。再審議を。

（討論）

- 賛 議会は町長を擁護するのではなく行政を監視する組織であり主権者に寄り添い判断を求む（大沼）
- （陳情第7号）子どもたちに豊かな学びを保証するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情
全員一致で採択

陳情者：中地区教職員組合 執行委員長 大津敦

要 旨：教員が子ども一人一人に向き合う時間の確保のため、30人以下学級の推進と教職員定数の改善、国庫負担拡充等を求める。

人 事

- （議案第31～42号）農業委員会委員の任命
任期は3年
全員一致で同意

（敬称略・議案番号順）

（新任）・ふたみ 敏夫（川勾）	・にしやま 弘和（中里）
（再任）・まつかわ 均（一色）	・こばやし 茂（中里）
・まつぎき 博（二宮）	・こうさか 政博（緑が丘）
・松崎 博（二宮）	・香坂 茂（山西）
・水島 寿徳（中里）	・のや 昌代（一色）
・みずしま 透（二宮）	・うちやま 昌代（一色）
・鈴木 透（二宮）	・いん 昌代（一色）
・いのうえ 昌之（一色）	・なかむら 隆一（山西）
・井上 昌之（一色）	・中村 隆一（山西）

議 員 提 出 議 案

- （議員提出議案第2号）二宮町立中学校の進学に、自由選択制を導入することを求める決議
賛成多数で可決（9：4）

自由選択制は、仲の良い友達と同じ中学や、通学しやすい中学を選択できる。子ども自身の意志で学校を選ぶことができる有意義な自由選択制の導入を。

各議員の議案等に対する 賛成・反対 は？

		結果	渡辺 訓任	小林 幸子	岡田 幸次郎	一石 洋子	羽根かほる	小笠原 陶子	松崎 健	浜井 直彦	根岸 ゆき子	古谷 健司	善波 宣雄	大沼 英樹	野地 洋正	前田 憲一郎
番号	議員提出議案名															
議員議案 2	二宮町立中学校の進学に、自由選択制を導入することを求める決議	可決	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
番号	請 願 名															
請願 1	飼主のいないネコの不妊手術事業へ協働行政として登録することを求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 2	吾妻山への車両送迎を可能とする請願	採択	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○
番号	陳 情 名															
陳情 3	地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	採択	○	○	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○
陳情 4	排泄に課題を抱える障害者の日常生活用具へ排泄予測支援機器の追加認定についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 5	地域文化活動支援に関する提案に係る陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 6	果樹公園での庁舎建設工事着工しないで下さいの陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 7	子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
番号	町長提出議案名															
議案 30	令和 8 年度一般会計予算【臨時会議案】	否決	●	○	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○
議案 31～42	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 43	二宮町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 44	二宮町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 45	二宮町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 46	二宮町立二宮中学校特別棟外壁等大規模改修工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 47	令和 8 年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は表決に加わりません

※議案等に対して、○は賛成、●は反対を意味しています。

一般質問

※記事は質問者から提出された
原稿を掲載しています。



無所属
いちいし ひろこ
一石 洋子

問

人間本来の力を引き出す共助を公助する
施策とこどもが主語の学校づくりが重要

答

子どもの権利オンブズマンの講演会と
「こども会議」で声を聴き条例制定に向かう

Q 子どもの権利の気運を高めるためにはケアする側、母親、家族、教師、学校地域文化を包括的にデザインすることが重要だ。産後ケア含め、お母さんを支えるという新しい団体と協働し、ケアを相互関係ととらえる先進の施策を生まれる前から若者、不登校支援、開かれた学校、地域施策に展開したいが。

A 幼稚園・保育園への作業療法士の派遣を今年度から、小学校にも拡充したところ。予算否決でこども会議のスケジュールが止まったが協働する住民団体が独自のプログラムで地域に浸透するワークショップを担っていただいた。創意ある住民団体のアイデアと尽力に感謝し、しっかりと手を組みながら社会の希望の源である未来に続く道ととらえ、条例制定を実のあるものにする。

Q 京都大学前学長の山極壽一博士が来町。人類にとって共感と共振、信頼によるコミュニティ、子育ての社会化は創生期からの特色と。学校教育は余白が必要で町ぐるみの大きな変革を訴えられた。本巢市のすべての児童生徒がかかわり専門家と学んだ気候市民会議さながらの条例制定のチャレンジは大きな波紋を呼んでいる。「くにたち子どもの夢・未来事業団」のようにアカデミズムを入れることは重要。

A 山極博士が一番大切なのは教育で、地域ぐるみで人間的な力を発揮すること。人間がつくる物語の常識を疑う視点の大切さも訴えられている。



山極博士「遊びと自然とリズム」人間を知り未来創る

一般質問



無所属
おおぬま ひで き
大沼 英樹

問

- ① 吾妻神社の玉垣瓦盗難に対策は！
② 庁舎建設費用の上限額はあるのか !!

答

- ① 犯罪抑止に防犯カメラは有効
② 上限予算は考えていない。今後検討

Q 町管理の公園の隣接地で起きた瓦盗難事件だが、出入り口の鍵管理や防犯対策はどうなっているか。また、防犯カメラ設置にはプライバシー保護を挙げ消極的な姿勢が続いている様に見えるがいかがか。

A 自治体単独で治安・安全・安心を確保するものではなく、警察・地域・事業者と連携して守る認識。吾妻山の車両管理は、中里口に南京錠を掛けている。神社は公園に隣接するが、公園外であり地域で管理していると認識する。防犯カメラは犯罪抑止効果が一定程度あるが、町民に抵抗感があると認識しており地域に必要な時に支援措置を進めていきたい。

Q 30mもの長尺杭を要する軟弱地盤に3階建ての防災拠点とは液状化や沈下リスクがあり新庁舎建設予定地としての妥当性をどのように検証したのか。

A コストや利便性が最適であり議会・町民の理解を得た。10mの支持地盤とする計画を示していたが、実際の調査で変更が必要になり再検討をしている。

Q 東日本大震災時、ラディアン外構は波うちがあり液状化のような地盤沈下を確認しているが。

A 震災が直接の影響だったのか分かっておらず、締固め不足が原因ではないかと認識している。

Q 物価高騰・金利上昇・国交省ガイドライン・浸水など国指針と共に重複リスクを考慮しているか。

A 他市の中止報道等で心配は理解している。

果樹公園を選定し浸水リスクはクリアしている。



超重要という災害対策本部として全く機能しない事も？



無所属
ふるや けん じ
古谷 健司

問

- ① 骨髄ドナー支援事業補助の早期開始を
② 町税納付をすべて口座振替登録せよ

答

- ① 今後、補助を開始できるよう検討する
② 約4百万円の職員人件費が削減できる

① 骨髄ドナー支援事業費補助の早期開始を

Q 今年度中に制度を作り、遡って補助できないか。

A 骨髄ドナー支援事業費補助金は、県が町に補助金を交付する制度で、県の予算措置等の手続きが必要のため、今年度からの交付開始は予定してない。

Q 体外受精等の不妊治療・検査助成制度の実施は。

A 不妊治療が保険適用となり、県は併用可能な先進医療の補助事業を開始した。県の動向を注視する。
【要望】 国や県の補助が続かなければ町は補助をまったくしないというのではなく、国等の補助が出る間だけでも町の補助を支給してもらいたい。そして町民からの問い合わせを契機に補助制度を検討するのではなく補助を必要とする町民が現れた時には、補助ができるように準備して欲しい。

② 町民の利便性向上と町職員の業務効率化の実現

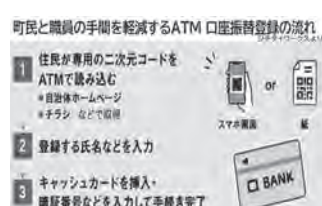
Q 口座振替申込手続きは職員だと約10分/件かかりコストは約550円/件となる。7,300人の口座振替未登録者がコンビニATMで登録すると人件費削減額は。

A 全員登録だと7,300人×550円＝約400万円

Q 銀行のように、町職員が寄り添い、町民自身がパソコンに入力し待ち時間の短縮等をはかれないか。

A 町民サービス向上と業務効率化の両面で検討する。

【要望】 町民の口座振替登録の手間を軽減し、職員人件費を削減するために、ぜひコンビニATMを活用した口座振替登録を導入し促進して欲しい。



口座振替は、町民の納付忘れ防止、町も収納率が向上



無所属
はね
羽根かほる

問

①小中一貫教育施設一体型の目指す所は
②職員の採用状況と働きやすさは

答

①施設一体型一校に整備する
②職員の働きやすさは採用につながる

①小中一貫教育施設一体型の目指す所は

Q 施設一体型の進捗は。

A 教室数や敷地面積、支援教室の配置など複合的な課題があり具体化には至っていないが、将来的に施設一体型の小中一貫教育校1校に整備したい。

Q 施設一体型小中一貫教育校の将来像は。

A 校舎整備などのハード面だけでなく、9年間を見通した学びや授業等ソフト面の充実も重視する。

Q 不登校児童生徒への対応と成果は。

A スクールカウンセラーの配置、ほっとルームの設置、教育支援室の活用、アンケートによる早期発見など重層的な支援を実施し、令和7年度は不登校、新規不登校ともに減少。一人ひとりの状況に応じた支援と安心して過ごせる環境整備を進める。

②町職員の採用状況と働きやすさ

Q 職員体制の現状は。

A 職員定数は241人で、職員数237人。会計年度任用職員198人が業務をサポートしている。年齢構成は30代・40代の中堅層が厚い組織である。

Q 退職の状況は。

A 退職者は10人で、自己都合退職は8人。国や県、市などへの転職が主な理由。

Q 他自治体は窓口時間の短縮を実施しているがどうか。

A 定時前後の残業が減少。職員の働きやすさと採用促進につながる。



二宮小の体育館も施設一体型一校で改善可能では。



無所属
はまい
浜井 直彦

問

現庁舎の非常用発電時の不具合と
持続可能な住民協働型モビリティは？

答

照明不具合は速やかに是正して、公共交通は他市町事例も参考に重層的に検討

Q 現庁舎停電点検で非常用発電機の通電不備が発覚した原因と、今後の迅速な是正措置は。

A 消防用設備点検で非常用照明の不具合を確認した。原因は現在業者へ調査を依頼している。結果が出次第速やかに是正を図っていく。また、今後は災害時の対策を町民部とも相談し整えていく。

Q 現庁舎での災害対策本部となる会議室への電源供給の現状と、有事における初動の対応体制は。

A 現庁舎の非常用発電機は防災安全課室内にしか通電しない。対策本部となる第1会議室への給電ルートは無いが、満充電で5時間稼働する大型蓄電池2台を常備しており、緊急時はこれを活用して初動対応に当たる。現状では大型蓄電池を使用した電気機器・電子機器などの動作の確認はしていない。

Q 移動困難地域への住民協働型モビリティ導入や神奈中バス減便対象ルートへの今後の対応方針は。

A 既存のバス路線維持を最優先としつつ、移動スーパーの強化やタクシー券の拡充など他の事業と重ねて効率的な移動手段を検討する。住民協働型モビリティは、他市町村の先行事例を参考にしつつ、住民との話し合いや機運の醸成を図り検討を進める。

【要望】災害は待たない。現庁舎の防災不備は猛省し大至急是正せよ。地域交通は行政丸抱えの時代ではない。行政が伴走し住民と協働での「未来型モビリティ」の実証実験へ即座に舵を切るべき。



毎年動作点検を実施するも実態を確認しないお粗末さ

一般質問



日本共産党
わたなべ くにたか
渡辺 訓任

問

①高齢者保健福祉計画の進捗は
②町の戦争遺構の保全・文化財指定を

答

①補聴器購入補助は制度設計を検討
②保全は大切だが指定は難しい

■高齢者保健福祉計画の進捗について■

Q 前期計画から、くらし向きや地域密着型施設の開設などの変化が、昨年実施のアンケート結果には現れていないか。

A コロナによる外出控えなどは減った。「地域密着型施設は慣れた環境で過ごせる」と、評価が高い。

Q 介護の担い手不足の影響が現れている。現計画で「多様な人材を検討する」としている。小規模の事業者が加算を受けたり人材を確保できるよう、従来の支援に留まらず、共通の研修・人材確保のプラットフォーム整備・介護功労者への表彰制度など、取り組みを抜本的に強化しないか。

A 規模によって不利にならないよう、情報の把握・提供と側面的支援を進めていきたい。

Q 県が今年度から補助制度を始めて、加齢性難聴者に対する補聴器購入補助が近隣でも広がっている。町での導入を求める。

A 県の制度は基準が厳しい要件もあるので、使いやすく、効果が上がる制度設計を検討する。

■戦争遺構の文化財指定について■

Q 町の戦争遺構を、無秩序な侵入による荒廃防止、調査・案内方法の継承のため、文化財指定し、平和学習への利用を求める。

A 民間の所有地にあるなど指定は難しい。平和学習には、戦時下の二宮を記録する会の調査報告・記録を活用している。



当時の海岸線防衛作戦を語る吾妻山の砲台陣地跡



無所属
おがさわらとうこ
小笠原陶子

問

不登校生徒の中学卒業後は支援途切れる
ひきこもりや8050問題予防は

答

関係部署が連携し、個々の状況に応じた支援を実施していく

Q 不登校児童生徒の卒業後を見据えた支援体制は。

A 各学校では中学校卒業時の進路は把握しているが、卒業後の進路変更や所属状況を継続して把握することは困難。

Q 教育委員会と福祉の連携はどうなっているのか。

A 町では「ことわらない相談窓口」や「にのはぐ」など相談体制を整備し、関係機関と連携して支援を行っている。若年ひきこもり対策では県の支援センターや若者サポートステーションを案内している。教育と福祉は日頃から連携し、必要に応じて支援につないでいる。また県の居場所事業「い〜ばしょ」の開催や就労支援の周知を進めている。新たな連携会議の設置予定はないが、既存の体制の中で関係部署が連携し、個々の状況に応じた支援を継続していく。

Q 困難を抱える子どもに気づき、寄り添える人材を育てるため、学びの場や講座を設ける考えは。

A 町はこどもの権利条例制定に合わせ、ファシリテーター養成講座を実施。約40人が受講し、そのうちの15〜16人が現在活動している。今後も人権や子どもの権利に関する学びを継続し、地域全体で子どもを見守る仕組みづくりに取り組む。

Q 生活保護世帯の子どもの学習支援あすなろの参加者数や学年構成など実態把握しているか。

A 教育委員会では把握していない。

【要望】大人は気づいてくれない。声なき声をきけ。



こども意見ファシリテーター養成講座は40人受講

一般質問

※記事は質問者から提出された
原稿を掲載しています。



公明党
こばやし さちこ
小林 幸子

問

能登半島地震等を受け、今一度大規模
地震災害に対する町の見解を伺う

答

公的支援の限界を認識し、自助、共助を
さらに推進するための取組みをしている

Q 神奈川県は、昨年3月に地震の被害想定を改定したが、町への影響は。

A 全体的に避難所の避難者は減少傾向だが、高齢者や要配慮者の人数は増えており、対応を見直していく。帰宅困難者は800人の想定から2,300人まで増加。法務局だけでなく、広域避難所等にも受け入れをしていく。

Q 飲料水の対策は、どのように備えているのか。

A 各避難所に分散して、6,600リットルのペットボトル等を配置。それ以外に耐震性貯水槽、100トンを手ラディアンと沖ノ田公園（一色）にそれぞれ設置。

Q 富士見が丘3丁目は、自治会で災害用給水タンクの購入を計画しているが、町から給水車を手配してもらえるのか。

A 地区で設置した給水スポットにも手配する。

Q 食料についてはどのように確保したらよいか。

A まだ構想段階ではあるが、今回、在宅避難を推奨するにあたり、受援体制が整っていない中では、地域の方に取りに来てもらうことが想定される。

Q 非常食の試食を訓練に組み込んだ意図は。

A 色々な非常食を試食し、口に合うものを備蓄として選んで、普段と変わらない食事をしてもらう。

Q 広域避難所の開設は役場職員がやると認識があったが、地域が主体となって開けるのか。

A 最終的には、誰でも開けられる広域避難所というものを目指していきたい。



二宮町富士見が丘防災
コミュニティーセンター



無所属
ねぎし こ
根岸ゆき子

問

成年後見制度改正に向け、町民に
わかりやすい相談窓口設置を

答

社会福祉協議会に担い手となってほしい。地域の資源が集まっていく場所だ

Q 成年後見制度が26年ぶりに改正される。町はこれをどう捉えるか、認識を問う。

A 高齢者の増加に伴い制度を更に利用しやすくなる必要性が高まっている。町としても国の動向を注視し権利擁護を推進する。

Q 町民相談はどのように上がってくるのか。

A 当事者やその親族、介護事業者や医療機関からの相談のほか、施設事業所で支援者のいない入所者の申立て相談もある。町窓口以外にも、県社協にある、かながわ成年後見推進センターや各法律関係の専門職団体に問い合わせをされるケースもある。町のことわからない相談窓口で受けるのは年間大体10件ほどで、内容の幅は広いが認知能力低下の不安からくる今後の相談などもある。

Q 今までは専門家による後見人がつくると終身契約となっていたが、改正後は目的に応じて必要な時だけ契約できる制度となる。家裁の判断は必要だが、選べる幅ができる。地域福祉計画によれば法人後見事業は社協で進めるようだがそれは妥当なのか。

A 社協には専門職が配置されていて、町内の専門職の情報が集まってくる場所でもある。権利擁護推進の担い手として期待する。

Q 県内では広域連携のセンターが南足柄市にある。弁護士など専門家は必要のようだが。

A 非常勤とするなどの事例等があるので、参考にしたい。



足柄上の1市5町は共同で
窓口を設け地域と連携する

一般質問



無所属
まつざき たけし
松崎 健

問

- ①新庁舎建設の契約解除の違約金は？
- ②中高生の大麻摘発増加への対応は？

答

- ①取り決めはなく、協議により定める
- ②情報収集は大事。より良い情報活用を

Q 概算事業費はどの程度増加する見込みか。

A 機能に影響のない範囲で合理化を検討したが、厳しさは増加傾向。工期を含め速やかに説明する。

Q 工事開始後の工期延長、事業費増大による市民生活への影響が報じられている。最悪、廃虚が残る姿は想像したくない。想像しうるリスクは？

A 一般論だが、指摘のような事態もあり得る。そうならないよう実施設計を進めている。

Q 契約を解除した場合の違約金の額は。

A 取り決めはなく、協議により定めるとしている。一般論だが1～2割支払うと承知している。

Q 過去に契約解除及び物価スライド制（物価変動に依じての価格変動）適用の事例はあるか？

A いずれもない。

Q 工事中止に伴う杭の抜去には杭打ちと同程度の費用が発生する。抜かずに放置した場合、地中の杭は負の遺産と考える。会計上の位置づけは？

A 現時点、杭は打たれておらず、説明は困難。

Q 「学校統廃合の財政効果」「認知症リスクと教育年数」を巡る研究結果を情報提供してきた。また二宮町ではないが大麻まん延による中高生の摘発が大幅に増加している。教育行政を預かる立場として、自ら情報収集に努め評価・対応していただきたい。

A 情報収集は大事。その活用を含め、今後より良いものを求め、やっていきたいと思います。



着工したら後は戻れない
英断を下すのは今



無所属
まえ けんいちろう
前田憲一郎

問

こどもたちの意見を尊重・重視した教育がおこなわれているのか

答

児童・生徒一人ひとりに寄り添った支援に取り組んでいく

Q 部活動のクラブ化への進捗について。

A 文部科学省では、令和7年12月に新たに「部活動改革及び地域クラブ活動等に関する総合的なガイドライン」を策定した。現在、各中学校において地域指導者に関わってもらっている部活動もある中で今後も地域展開、地域クラブの推進について、国が定める改革実行期間内の実現を目指し、検討を進めている。

Q 学校や児童生徒、保護者からの施設整備等の要望に対する対応は。

A 学校施設の整備については、児童生徒が安全安心に学ぶことのできる環境づくりのため、これまでに、校舎や体育館の耐震改修をはじめ、空調設備の導入などを行ってきた。昨年度実施した、二宮西中

学校屋上防水改修工事に続き、今年度は、二宮中学校特別棟の外壁等大規模改修工事を実施する。

Q 不登校に対する対応や、障がいのあるこどもたちに寄り添った学校教育が行われているか。

A 学校に行きたいけれど登校できない児童生徒が利用する教育支援室「やまびこ」について、特別支援学級につながる児童生徒の利用についても柔軟に受け入れるなど運営の充実を図っている。さらに友達との関わりや集団行動が苦手な子どもなど個々の特性や課題に応じた指導を行う通級指導教室についても全小学校に開室し支援に取り組んでいる。



外壁等大規模改修する
二宮中学校特別棟

二宮町議会だより第200号記念特集

議員のOB会（議友会）の歴代会長に、二宮町議会の印象的な出来事を語っていただきました。

議会だより200号記念おめでとう

ございます

西山 伊三郎



今から32年前（16年にわたり76歳の退職まで）お世話になりました。

議員時代、たくさんある中で印象に残ること、それは、北口商店街のバス一方通行の件。道

幅が狭いため、車と人がスレスレに通行している様子・・・とても危険でした。今では、バス優先の朝の時間帯が定着しスムーズに運行している様子を安心しています。

まだまだ、課題は出てくると思いますがこれからも「誰もが安心して住める町！」に町議会議員の皆さまのご活躍を期待しております。



まだ課題が残る駅周辺の商店街

自然のバランスが大切と強く感じる

井上 進



私が議員を務めた時期は、柳川氏、西山氏、古澤氏の3町長の任期にわたります。1978年に二宮高校が設立され、PTA会長を務めました。その後、議員を務めることになりました。

在任中、せせらぎ公園を「ふるさと創生事業」の1億円で整備した事は良く覚えています。小田原市小竹から続く山林・谷戸の地形と田・山林などの様子を残すべきだと、議員で話し合って進めました。

近隣の漁獲量減少は、葛川も含めて流れ込む河川の上流で森林がなくなり、海に流れ込む栄養分が減ったことも一因だと思います。自然のバランスの大切さを改めて思います。



季節にはハナショウブ、ホテルを楽しめる

信頼関係を生かした調整で

ごみ問題解決

西山 幹男



私は4期16年にわたり議員として活動しました。初当選したときの喜びは今も忘れられません。

議友会の思い出は石川県を一泊で訪れたことが心に残っています。

議長職では、自らが目立つの

ではなく、議員一人一人が力を発揮できるよう支えることを大切にしてきました。

特に、町のごみ焼却場が使用できなくなった際には、平塚市の焼却場そばの市民団体の皆さまに理解をお願いし、自ら築いた信頼関係を生かした調整により、課題解決へつなげることができたことが印象に残っています。



ごみ焼却は広域化となり町のごみは積みかえて運ぶ

地域とともに

井上 良光



学び舎だった一色分校が廃校になり久しく荒廃していたなか、町の北部の町民活動の場として防災の拠点として新たにコミュニティセンターを建設して欲しい旨の一般質問を行ったところ、町はすでに五カ所に建設してきたのでこれ以上の施設は作らないとのことでした。

地区で相談したら地区長から署名を伴った請願書を出そうということで、一色はもとより緑が丘、一部百合が丘の人々に協力を求め、署名を付けた請願書を議会に提出し採択されました。これを受け、町は重い腰をあげ現在の一色コミセンが建設されました。利用しやすい施設として好評です。

地域の人々との連携で達成できた事が私の喜びです。



一色防災コミュニティセンター竣工式(平成21年5月)

委員会活動報告



議会基本条例推進委員会

《議会報告会&意見交換会》開催

令和8年5月23日(土)

来場者21名 アンケート集計10枚

3月議会概要、否決となった令和8年度予算、予算審査意見、委員会活動を中心に画像を用いて説明&報告。

入退場自由であったこともあり、皆さまと個別にゆっくりと意見交換ができました。



議会YouTubeで
ご覧ください

ラディアン ミーティングルーム2 10:00~16:45

～ご意見・ご要望ありがとうございました～

- ・議会が全体にぬるい(発信、スピード)
- ・議員定数2議席削減し、報酬アップを
- ・予算否決は二元代表制のもと意思疎通不足
- ・ごみ分別冊子の再度作成を(イラスト)
- ・財源を確保する営業活動がない
- ・「こどもまんなか」も良いが他も進めよ など

総務建設経済常任委員会

テーマ:「地域活動を支えるグリーンスローモビリティの活用について」

3月議会以降、現時点において新たな調査活動の実施には至っていないが、バス路線の減便・廃止対策や移動支援は本町にとって極めて緊急かつ重要な課題。当初の計画通り、本年9月を目途に町への具体的な提言を取りまとめるため、引き続き先進事例の分析や本町への適用における課題整理、執行者との意見交換など、多角的な調査研究を継続していく。



相模原市の地域での運行を学ぶ

教育福祉常任委員会

視察は5月予定だったが一般会計予算が否決され、予定変更。4月20日調査研究会にて再検討。今回は「教育における子どもの権利」のテーマのみを視察。7月22日と23日愛知県長久手市「小学校への作業療法士派遣事業について」、岐阜県北方町「学びの多様化学校」。7月12日にのみや子どもの権利フォーラム主催のこどもフェスティバルに委員会参加。「地域包括ケアシステムのあり方について」は、先進事例等を研究し提言書提出の準備。



これまでの会議

日 時	会議名等
6月17日(水)	議会全員協議会 議会基本条例推進委員会議会 だより編集委員会
24日(水)、26日(金)	議会だより編集委員会
30日(火)	議会基本条例推進委員会
7月3日(金)、8日(水)、 14日(火)	議会だより編集委員会
8日(水)	教育福祉常任委員会
17日(金)	議会運営委員会

日 時	会議名等
22日(水)～23日(木)	教育福祉常任委員会視察 (愛知県長久手市、岐阜県北方町)
24日(金)	第4回臨時会 議会全員協議会 議会基本条例推進委員会

これから会議

日 時	会議名等
8月21日(金)13時30分 議会全員協議会終了後	議会全員協議会 議会基本条例推進委員会

日 時	会議名等
8月13日(木)17時	請願・陳情受付締切
19日(水)13時30分 議会運営委員会終了後	議会運営委員会 議会だより編集委員会
31日(月)9時 9時30分	議会運営委員会 本会議(議案提案理由説明・付託)
9月1日(火)9時30分	各常任委員会(付託案件審査)
4日(金)9時30分	本会議(委員長報告・補正予算)

日 時	会議名等
8日(火)9時30分	本会議(決算に対する総括質疑)
9月10日(木)、11日(金) 9時30分	本会議(一般質問)
15日(火)～18日(金) 9時30分	特別委員会(決算審査)
25日(金)9時30分 本会議終了後 議会全員協議会終了後 基本条例推進委員会終了後	本会議(委員長報告・表決) 議会全員協議会 議会基本条例推進委員会 議会だより編集委員会

編集後記

議会だよりも第200号となり、50年、半世紀という大きな節目を迎えました。議会だより発刊当時、20名の議員定数(戦後時は26名)で始まった議会も、現在は6名減らした14名の議員数での運営となっています。そんな中、二宮町議会史上初の一般会計当初予算否決が起こり、3月臨時会での暫定予算は可決したものの、5月臨時会の本予算でも再度否決、6月定例会でやっと可決にいたりしました。これからの町の運営に期待します。(古谷)

議会だより編集委員

委員長 古谷 健司
副委員長 岡田幸次郎
委員 一石 洋子
小笠原陶子
根岸ゆき子
大沼 英樹



議会へのメール